

サロン展

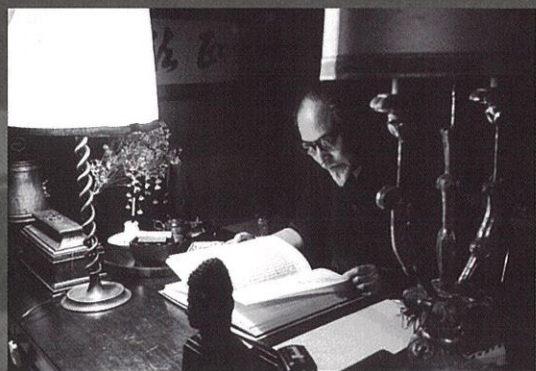
けん うん 顕雲

——白井晟一研究所の図面

白井晟一（1905 - 1983）は、1950年代に設計した一連の公共建築や、戦後の芸術界で巻き起こった「伝統論争」への参画で注目を集めた建築家です。68年度日本建築学会賞を受賞した《親和銀行本店》や住居《呉羽の舎》、未完の建築《原爆堂計画》をはじめ、その作品は現在でも高い評価を受けています。

彼の主宰した白井晟一研究所は、精緻かつ優美な図面を作成したことで類まれな存在でした。図面は建築の形態とともに白井自身の設計思想を伝達するための媒介物であり、それゆえに作成された図面には独特の精神性が漂います。薄いトレーシングペーパーに描かれた図面は、建築と設計者のあいだをつなぐはかない幻のようなもので、建築作品のタイトルや自筆の書のモチーフとして白井が好んだ一文字、「雲」になぞらえることも可能でしょう。

本展では、白井晟一の設計事務所が作成した原図面を展覧し、かつその見どころをあますことなく紹介すること——白井がよく揮毫した言葉に倣うならば、雲を顕すこと——を、目指すものです。



《虚白庵の白井晟一》1970年頃 画像提供：株式会社芸術生活社

学芸員によるギャラリートーク

3月8日①、14日②、22日③

各日午後2時～ 約30分

※無料 ※事前予約の必要はありません。

2026年

3月8日① ▶ 3月22日③

開館時間 午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

※最終日は公募展会場のみ午後4時閉場

休館日 月曜日

会場 2階サロンミューゼ、特別陳列室

主催 渋谷区立松濤美術館

同時開催 2026松濤美術館公募展

※会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

入館料
無料

Admission Free



渋谷区立松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 渋谷区松濤2-14-14

☎03-3465-9421

<https://shoto-museum.jp>